



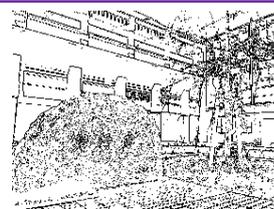
錦林小学校

令和5年度3月
(アンケート結果)

NEWS LETTER

京都市立錦林小学校

606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1
TEL : 075-771-0921
FAX : 075-771-3622
E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp



子どものためのアンケート（2回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」(12月実施)にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、いただいたご意見、教職員の振り返りをふまえ、これからも保護者・地域の皆様と共に力を合わせて錦林小学校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えています。

今回は、7月に実施したアンケートの結果と比較して見えてくる成果と課題を明らかにし、本校の日ごろの取組を見直すとともに、今後の取組に生かしてまいります。

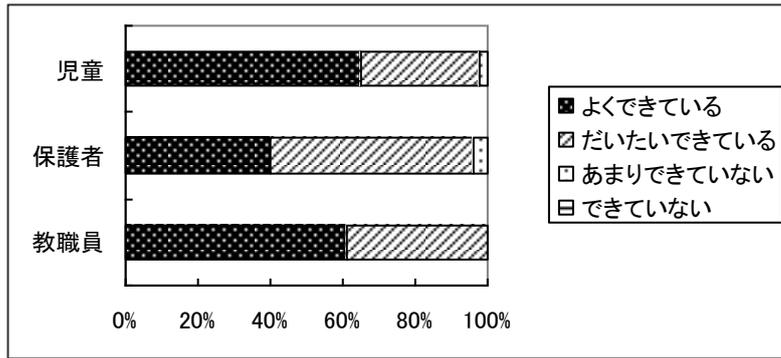
【アンケート結果】

質問項目	児童	保護者	教職員
子ども一人一人を大切にされた教育を進めている (学校では一人一人が大切にされている)	95(+1)	98(+1)	100(±0)
授業が分かりやすい(確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている)	98(+2)	96(±0)	100(±0)
地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである(地域の特色を生かした学びを進めている)	84(+5)	98(+2)	79(+9)
意欲的に学習に取り組んでいる	95(+3)	85(-2)	100(±0)
進んで本を読んでいる	72(-3)	60(-4)	90(-3)
宿題などの家庭学習に取り組んでいる	94(+1)	87(-3)	100(±0)
分からないこと、困ったことなどを相談しやすい	82(±0)	92(±0)	100(+3)
楽しく登校できている	94(±0)	96(±0)	100(±0)
進んであいさつできている	87(+1)	78(-1)	90(±0)
人を大切にしている	98(+1)	95(±0)	100(±0)
自分のよいところと言える(よさやがんばりを認め褒めている)	75(±0)	90(-1)	100(±0)
生活のルールを守っている	94(-1)	89(+1)	100(±0)
時間を守って生活できている	90(-2)	81(-1)	97(+4)
「すべきこと」「してはいけないこと」についてしっかり考え、適切に判断できている	92(-2)	90(±0)	94(-2)
がんばることを見つけて努力・挑戦している (「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している)	92(-1)	68(+1)	95(-1)

※肯定的に回答されている割合を「%」で表しています。

※()内は前回比です。

授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）



児童には「じゅぎょうがわかりやすいか」、保護者には「学校は確かな学力をつけるための教育を進めているか」、教職員には「確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めているか」というように質問しています。児童の回答を見ると、肯定的に回答した児童が1回目のアンケートに比べて2ポイント増の98ポイントとなりました。さらに、児童の回答の内訳の推移を見ると、1回目から2回目にかけて「だいたいできている」から「よくできている」と変化した児童が微増しています。

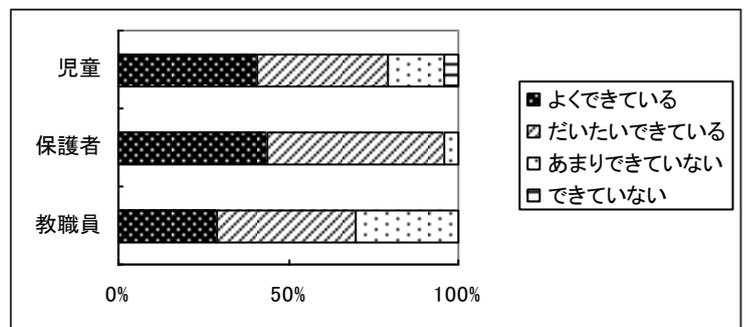
錦林小学校では、児童が「できた!」「わかった!」を実感できるような授業展開の方法を考えて、取り組んでいます。特に、めあて確認やふりかえりの徹底を通じて、学習したことの価値を自ら確認できる授業を展開することに力を入れています。また、児童の気づきを大切にしながら授業展開を通じて意欲的な学びを引き出すことなどについて、学校全体で組織的・継続的な授業改善に取り組んでいます。

今後も、教職員全体で研修や研究協議を進め、1時間1時間の授業の中で学びの質を高められるよう取組を充実させていきます。

地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである

前回アンケート（7月）では、児童・教職員ともに肯定的に回答している割合が、他の質問項目に比べて低い結果となった項目です。

今回のアンケートでは、前回に比べて肯定的な回答をしている方の割合が児童5ポイント、保護者2ポイント、教職員9ポイントと大幅に増えました。



2学期以降、川端警察署の方に来ていただいて交通安全マップを作成したり、実際に歩いて琵琶湖疏水を見学したりと、錦林小学校の地域のことについて学習する機会がたくさんありました。また、地域の料亭の方にゲストティーチャーとして何度もお越しいただき、食育の学習も行いました。



さらに「動物園ラリー」では、京都市動物園に行き、全校のたてわりグループで、協力してクイズに答えたり、チェックポイントをまわったりする活動を行いました。

今後も、歴史的な文化財や公共施設、豊富な人材などの地域の財産を活用し、児童が地域への愛着と地域との絆の大切さを自覚できるよう、家庭・地域と協働して、本校独自の学びを模索していきます。

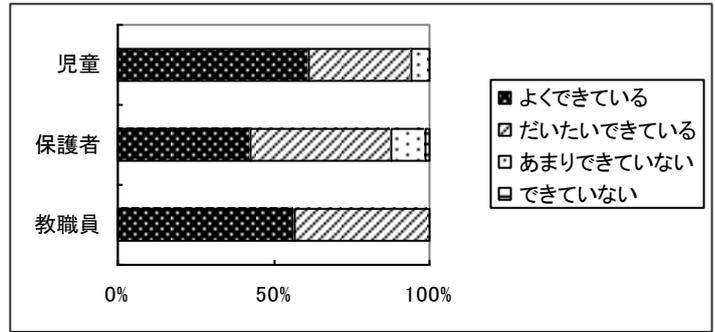
宿題などの家庭学習に取り組んでいる

前回のアンケート（7月）と比べ、「よくできている」「だいたいできている」と回答している割合が、児童1ポイント増、保護者3ポイント減となりました。

小学校では、家庭学習の大切さや内容・方法について分かりやすく指導するとともに、提出物の内容や時期についても家庭との連携・協力を図りながら工夫していきたいです。

また、与えられた課題に取り組むだけでなく、自主学習などを活用して、自らが課題を選択し、予習・復習に取り組むなど、家庭学習を通して主体性を育てていくことが大切であると考えています。

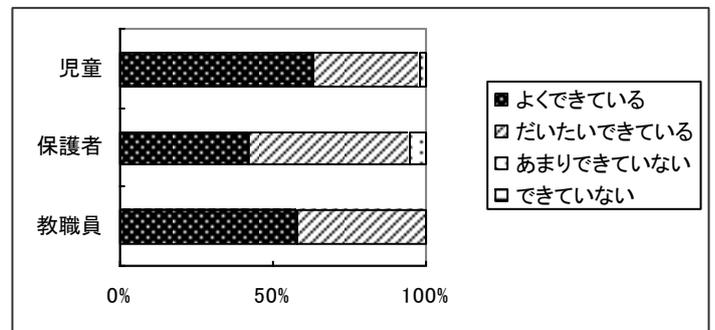
そのためにも、日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図ってまいります。今後も、児童が主体的に家庭学習に取り組めるよう、授業の中で系統的に指導や支援をしていきます。



人を大切にしている（「人を大切にする子」に育っている）

一つ目の質問項目、「学校では一人一人が大切にされている」と同様に、とても大切にしたい質問項目の一つです。前回のアンケート（7月）と比べて、肯定的に回答した児童の割合が1ポイント増加しました。教職員・保護者に関しては、肯定的な回答の割合に変化はありませんでしたが、回答の内訳の推移を見てみると、1回目から2回目にかけて「だいたいできている」から「よくできている」と変化した教職員が27ポイント増えていました。

錦林小学校では、子ども達が、自他を大切に、よりよい人間関係を通して豊かな人権感覚を育ていけるよう教育活動を進めています。さらに、毎月の「にこにこの日」では、社会におけるさまざまな人権課題について学習する時間を設けています。



1月に計画委員会の児童を中心に行った「錦林HAPPY大作戦」では、1～6年生の児童が自分のことについて伝え合う活動を行い、たくさんの笑顔が見られました。児童からは、「いろいろな人のことが知れて楽しかった」「友達が増えて嬉しかった」などの感想を聞くことができました。



【アンケートまとめ】

昨年度よりオンラインシステムを使用してアンケートを行っています。今年度、保護者の方からは、児童数564名に対して356件の回答をいただきました。約63%という回答率は1回目のアンケート同様、とても高い割合となりました。

アンケート結果の1回目（7月）と2回目（12月）を比べてみると、全体的に児童の回答に大きな変化は見られませんでした。経年変化を見てみると、昨年同様、全体的に肯定的な回答の割合が高い傾向にありました。ただし、少数であっても、否定的な回答があるという点についてはしっかりと受け止める必要があります。このアンケート結果をもとに、これまでの取組の成果と課題を見直し、児童がいきいきと活動し、力をつけていけるよう努めてまいります。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【保護者（ご意見・ご感想の記入欄）より】

学校の出来事について、お手紙やスクリーンだけでなく、電話連絡などを都度いただけるので、とてもありがたいです。

学校では、児童はもちろん、保護者の方とのつながりも大切にしたいと考えています。今後も積極的に連絡をとらせていただき、学校での様子をお伝えさせていただきます。保護者の方も、気にかかることがあれば迷わずご連絡していただき、学校と共有させてください。

学校で統一して、持って帰る必要のない教科書を学校においておくようにしてはどうか。

教科書等の持ち帰りに関しては、子ども達の負担や安全性を考慮し、指導するようにしています。低学年の間は、学年で統一して持ち帰るものなどを定めていますが、中～高学年になるにつれて、「何を持ち帰らなければならないか」を自ら考えて判断していることが多いです。今一度、校内でも、持ち帰りを含めた持ち物の管理が適切にできているかについて、見守り、支援していきます。

全校生徒の運動会を開催してもらいたい。

運動会に関わる体育の授業が多すぎる。子どもの負担、他の学習の負担も考えて計画してほしい。

学年開催の運動会の方が、参観しやすくよい。

運動会に関しては、全校で行う方がよいという意見も、学年ごとに行う方がよいという意見も同じようがありました。実施の仕方については、学校の規模、児童の充実感や負担感、年間の授業時数や他教科の学習との兼ね合い、時期、参観の仕方などを総合的に判断し、決定する必要があります。来年度の運動会の実施計画を検討するにあたって、まずは運動会のねらいを再確認し、ねらいに沿った活動になるように進めていきます。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

毎日楽しそうに学校に通うことができおり、子どもにとって、学校が安全、安心、楽しい場所になっていると思います。

先生方が子どものやる気を引き出してくださり、子ども達に寄り添った指導をしてくださり、感謝しています。

担任の先生がきめ細やかに子どものことを見てくださっていて、とても感謝しております。

この他にも、教職員にとって励みになるようなご意見・ご感想をたくさんいただいております。ありがとうございます。今後も、学校で学ぶ子どもたちにとって、教職員の存在が最大の教育環境であるという認識のもと、子どもの人権を守り、子ども自身が大切にされていることを実感できるように、教職員一同で努めてまいります。